

ふりがな 氏名	ふじい しんじろう 藤井 新次郎	都道府県	愛知県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋国際中学校高等学校 教諭(理科 国際交流担当) ・名古屋市環境サポーター 			
私のESD活動	<p>多様な文化を持つ人々が自然と共生できるグローバル社会の実現のため、生徒と共にチャレンジしています</p>			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は、これまで主に学校教育の現場で、ESD 活動とその普及に努めてきた。勤務する中高一貫校では、理科の教員として、中高生を対象に教科教育における ESD に関わる単元でのフィールドワークや発展学習を行っている。課外活動では、希望者を募り、フェアトレードやカーボンオフセット、減災といった概念を組み込んだ取り組みを行っている。民間企業と連携を積極的に行い、活動の成果物として商品開発を共同で行っている。その商品を用いて、生徒主体で配布・販売を行うことで、フェアトレードやカーボンオフセット、減災に関する啓蒙・普及活動を行っている。例えば、私たちの活動の中心である愛知県は、製造業が盛んなため、外国人が多く居留している。しかし、日本の看板やサインの多くは日本語で書かれており、多言語には対応していないため、災害時には外国人の多くが災害弱者となることが想定される。そこで、私たちは開発した商品のパッケージに多言語を使ったフレーズや説明を入れ、外国人が多く訪れる場所を中心に配布し、外国人に対して防災・減災の意識を高めてもらう取り組みを行っている。また、学校が一時避難場所となっているため、地域の消防署と連携して、生徒の救命講習の受講を推進し、受講者数を増やしている。また、名古屋市が派遣する市民ボランティア「環境サポーター」として、大学院で環境科学を専攻していた経験を活かし、保育園や幼稚園、小学校を対象に、環境学習プログラムを実施している。寸劇やゲーム形式のアクティビティを通して、身の回りの物の成り立ちやごみの分別、環境負荷について、楽しく解説しています。

○「名古屋国際中学校高等学校」 <http://www.nihs.ed.jp/>

○「エコの環スクール」 <http://www.eco-1-gp.jp/eco-no-wa-school.html>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思えますか？

現在は愛知県を中心として活動しているが、今後は生徒が主体となって他県や海外へ赴いて、直接現地の人々と交流でき継続的に活動できるプログラムを構築したいと考えている。愛知県での取り組みでは、主に地域特有の社会課題を発見し、その課題を解決するための方法を議論し、学生レベルでできることに取り組んできた。今後は、その経験を異なる国や地域に適応し、生徒主体で社会課題を発見し解決する取り組みを行うまでのプロセスをできる人材育成を行いたいと考えている。私が勤務する名古屋国際高校では、生徒は海外での語学研修プログラムがあり、現地人と交流したり、高校や大学で授業や講義を現地生徒とともに受けている。今後は、それらの研修プログラムの中に、海外の社会問題を調べるアンケートやインタビュー調査を行う海外フィールドワークや、現地生徒をバディーとして協働できる社会貢献活動を導入したいと考えている。また、このような活動は、単年ではなく継続的に発展させる体制を構築する必要があると考えている。